

変革の時代、未来に向かって

佐賀県土木づくりコンサルタント協会会長

福島 裕充



新年明けましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

昨年は東京オリンピック・
パラリンピックがコロナ禍に
おいて無観客で開催され、盛
り上がりに欠けたものの選手
の活躍により多くのメダルを
獲得し国民の心に響く時間を
与えていただきました。

私たち『佐賀県土木づくり
コンサルタント協会』会員各
社はコロナ対策と社員教育を
徹底しながら、国や県・市町
の道路や河川等社会資本の整
備・保全に関するパートナー
として、調査・点検・測量・
設計・補償関係の仕事を遂行
しております。

今般の気象変化は著しく、
災害の少ない佐賀県にあつて
も、4年続けて大規模な豪雨
災害が発生し、公共施設、家
屋、農業施設等に大きな被害
をもたらしました。

得て中堅、若手職員へ業務の
効率化や改善を目指す研修等
を実施し、生産性向上と合わ
せて就業環境の改善を進めて
おります。

害復旧に向けて測量・設計に
取り組み、地元企業としての
責務を果たしております。

被災された皆様には、心よ
りお見舞いを申し上げますと
共に、一日も早い復旧を心か
ら願っております。

世界経済は、コロナ変異株
の影響によるサプライチェー
ンの停滞、米中経済摩擦、円
安、原油価格の高騰等、日本
経済の回復に暗い影を落とす
ております。この難局を第二
次岸田総理の手腕により、日
本経済の復活と地域の防災減
災対策をより一層推進し、安
全・安心で住みやすい地域社
会の実現に期待するもので
す。

住みやすい地域社会の実現
には、新たな基盤整備と既存
施設の保全が重要であり、我
々業界挙げて一翼を担って参
りたいと考えております。し
かし、少子超高齢社会の波は
大きく我々業界も高齢化が進
み、若い入職者の確保にも大
変苦慮しているところです。

この難題を乗り越えるた
め、働き方改革をより一層推
進するとともに、設備投資を
積極的にを行い、「IT機器や
最新機材」の導入による作業
の効率化を図る一方、ポリテ
クセンター佐賀様の御協力を

得て中堅、若手職員へ業務の
効率化や改善を目指す研修等
を実施し、生産性向上と合わ
せて就業環境の改善を進めて
おります。

今日の通信技術やAIの進
化は著しく、建設機械の分野
においても自立運転を目指し
た動きが活発化して参りまし
た。またAIを活用したイン
フラの点検や交通量調査等、
我々業界に関わる業務の改善
がどのようになるのか注視し
なければなりません。

この変革の時代に、未来に
向かって更なる進化に対応す
るため、働き方改革の推進に
より若い人材の入職を促進
し、3次元化に向けて i・C
o n s t r u c t i o n ・ B
I M / C I M への取組みを一
層進めて参ります。また、県
民の皆様の安全な暮らしを支
えるため、社会資本の整備や
災害時の対応、事故を未然に
防ぐための点検・調査・設計
・補償等に対し、最新の技術
を使つての業務遂行を推進し
、社会資本の管理者の皆様
から、更には県民の皆様から
信頼される『暮らしを守るパ
ートナー』として頑張つて参
る所存でございますので、今
まで以上のご理解とご協力を
重ねてお願い致します。

最後にになりましたが、皆様
方の益々の健勝とご発展を
心から祈念いたしまして、年
頭のご挨拶とさせていただきます。

得て中堅、若手職員へ業務の
効率化や改善を目指す研修等
を実施し、生産性向上と合わ
せて就業環境の改善を進めて
おります。

県民の安全・

安心のために

佐賀県地質調査業協会理事長 原 裕



新年明けましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

まずは、当協会の業務運営
につきまして、かねてから、

ご協力、ご支援をいただき厚
く御礼申し上げます。

私たち協会会員は、地域の
地盤状況に精通し、多くの経
験を有した有資格者を配置し
た、最も身近な国土交通大臣
登録の地質調査業者でありま
す。近年、全国各地で地形、
気象などの自然的条件から、
台風、豪雨、地震による大規
模な河川氾濫や土石流・斜面
崩壊等の自然災害が多く発生
しております。佐賀県におい

でも、令和元年8月の大雨、
昨年8月の大雨により六角川
流域の内水氾濫等多大な被害
をもたらしました。重大な災
害が後を絶たない状況であ
り、私も協会が行つてい
る「的確な地質調査と斜面防
災対策」は、県民の安全・安
心を確保するための防災・減
災に大きく貢献し、さらに、
土木・建築構造物を建設・維
持管理していくうえで大変重
要であると考えております。

このために、地盤に対する
理解を深めること、さらに、
技術者の技術の向上と人材育
成が重要であることに鑑み、
従来から「現地研修会」、「技
術講演会」、さらに「地盤工
学セミナー」などの研修会を、
県や関係団体の後援を受けて
開催しております。昨年は新
型コロナ感染者が急増したこ
とから一部延期しましたが、
9月下旬から感染者が減少し
たことから予定していた全て
の研修会を年内に終える事が
できました。今年も昨年同様
に十分な感染症対策を行い開
催してまいります所存でありま
すので多数の参加をお願いいた
します。今後、協会会員一
体となつて、ジオ・ドクター
(地盤の主治医)として、県
民の安全と県土の保全に貢献
してまいります所存でありま
すので、皆様の温かいご指導・ご
支援をお願いいたします。最後
になりますが、皆様の益々のご
健勝とご発展を心から祈念い
たしまして、新年のご挨拶と
させていただきます。

次世代につなぐ、 魅力ある業界へ

佐賀県建造物解体業連合会会長 中島 功



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
喜び申し上げます。

平素より本連合会に対しま
しては、多大なご協力、ご支
援を頂き、厚くお礼申し上げ

ます。

昨年一年間を振り返りまし
て、令和の三年目も、新型コ
ロナウイルスによって日本経
済は低迷し、飲食業界をはじめ
め、我々、建設業界にも大き
な影響が出た一年だったかと
思います。昨年末より全国的
に感染者数も減少傾向ではあ
りますが、またまたこの先も
感染予防に努めて一日も早い
終息を願っております。

一方、近年の異常気象は全
国的にも多発しており、佐賀

県内でも大規模な浸水被害が
毎年のように発生しておりま
す。被災された方々には、心
よりお見舞い申し上げますと
共に、一日も早い復旧を心から
願っております。私共、連合
会も被災地へと足を運び、微
力ではありますが、被災され
た方々に、少しでも貢献出来
ればと思ひ、ボランティア活
動を実施した次第です。

我々連合会も、設立から早
くも六年目になります。近年、
佐賀県内の解体業界も、若手
経営者が数多く参入され、業
界にとって、大変喜ばしい事
と、思っております。今後は、
若手経営者の方々に、積極
的に声をかけ、入会を勧め、
将来の解体業界の発展に努め
て参りたいと思っております。

二〇一六年に、建設業法が
改正となり五年となりま
すが、とても進歩した五年間だ
つたと感じております。また
まだ、解体工事業界を安定さ
せる為には、課題が山積みで
はありますが、若い経営者の
担い手確保や資格取得に向
け、勉強会などを行い、我々
連合会、会員、賛助会員と共
に解体工事業界発展に努めて
参りたいと思つている所存で
あります。

最後にになりますが、令和
時代での飛躍の業界へと
なつて参ります。全会員一丸と
なり、安全、安心の業界造りに
取り組んで参りたいと思つて
おります。皆様にとりまして
素晴らしい一年となりますよ
うに、心から祈念申し上げま
す。